TOSHIBA

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー内蔵

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ取扱説明書

形名 32Z1000
37Z1000
42Z1000
47Z1000

資料編

● このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの「取扱説明書」と別冊の「準備編」、「操作編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

もくじ(資料編)

デジタル放送(地上D、BSデジタル、110度CSデジタル)について …… 3

テレビ放送の特長 …… 3
ラジオ放送の特長 …… 3
データ放送の特長 …… 3
地上デジタル放送について …… 4
アナログ放送からデジタル放送への移行について … 4

本機で市販のキーボードを使う場合の動作について …… 5

各キーの基本動作 …… 5
10キー操作(NumLockオフの場合) …… 5
10キー操作(NumLockオンの場合) …… 5
「ローマ字入力」モードで使うとき …… 6

地上アナログ放送の自動設定一覧表 …… 7

地上デジタル放送の放送(予定)一覧表 …… 15

用語について …… 17

東芝デジタルテレビZ1000で使われるソフトウェアのライセンス情報 …… 18

東芝デジタルテレビZ1000で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文(英文) …… 19

デジタル放送（地上D、BSデジタル、110度CSデジタル）について

● デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルのテレビ放送や、デジタルラジオ放送、データ放送などさまざまな魅力を満載しています。
● デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができるので、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます（デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC方式）。さらに、5.1チャンネルステレオのサラウンド放送も行われています。

テレビ放送の特長

● デジタルハイビジョン放送を中心に、4種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送
放送フォーマット	1125i（1080i）放送	750p(720p)放送	525p(480p)放送	525i(480i)放送
走査線の数	1125本（有効1080本）	750本(有効720本)	525本(有効480本)	525本(有効480本)
走査の方式	インターレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

● デジタルハイビジョン放送１番組と通常放送3番組程度を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。
※本機はすべての放送フォーマットをデジタル処理によって、液晶パネルの画素数に合わせて表示します。
● 1125i放送には1035iの放送信号もあります。1035iの放送信号を受信した場合は、画面上部が黒く表示されます。

ラジオ放送の特長

● ラジオ放送は、BSデジタル放送で行われています。
（ラジオ放送は110度CSデジタル放送でも行えますが、2005年9月現在は放送されていません）
● 地上デジタルテレビ放送にはラジオ放送はありません。
（試験段階の音声放送としては、「地上デジタル音声放送」がありますが、地上デジタルテレビ放送とは別団体の規格であり、本放送が開始されても本機では受信できません。）
● 画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送もあります。

データ放送の特長

● テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送（番組連動データ放送）と、番組とは無関係の独立したデータ放送（独立データ放送）の2種類があります。
● 番組連動データ放送では、番組を視聴しながらいろいろな情報をチェックするなどの使いかたができます。
● 独立データ放送では、天気予報などのいろいろな情報がご覧になれます。

デジタル放送（地上D、BSデジタル、110度CSデジタル）について つづき

地上デジタル放送について

●地上デジタル（テレビ）放送とは？
地上波のUHF帯を使用したデジタル放送のことです。
（本書および別冊の「準備編」、「操作編」では、「地上デジタル放送」と記載しています）
現在行われているアナログ方式の地上放送（本書および別冊の「準備編」、「操作編」では、「地上アナログ放送」と記載しています）は、今後この地上デジタル放送に変わっていきます。

●地上デジタル放送の特長
これまでの地上アナログ放送に比べて、以下のメリットがあります。

（1）デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送
（「テレビ放送の特長」3をご覧ください）

（2）CD並みの高音質放送（MPEG-2 AAC方式）

（3）ゴーストの影響を受けにくいため、画像が鮮明

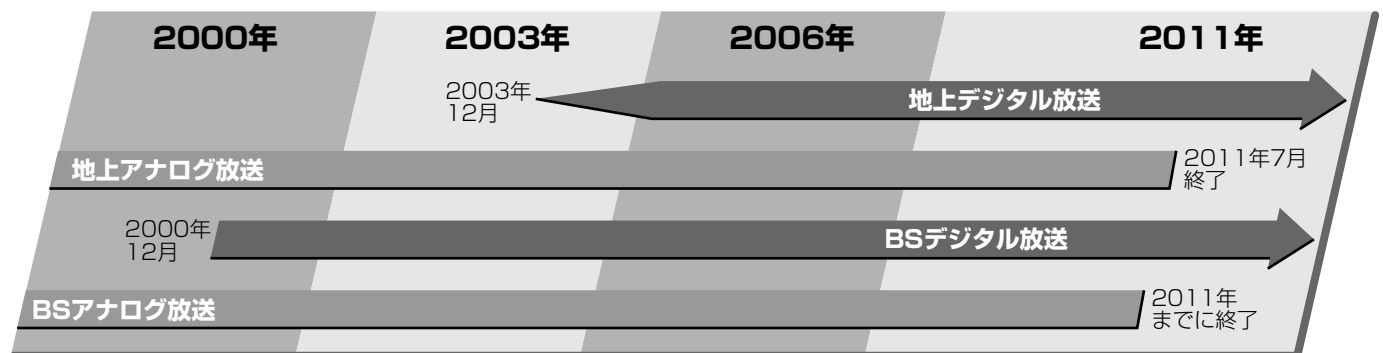
（4）データ放送や双方向通信サービス
通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が予定されています。
また、電話回線等を使った双方向通信サービスによる、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。

（5）移動体受信・部分受信サービス
車や電車などでの移動体受信サービスや、携帯電話などで受信できる部分受信サービスも予定されています。
※本機は移動体受信サービスは受信できますが、部分受信サービスは受信できません。

●BSデジタル放送や110度CSデジタル放送との違いは？
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の場合 ... 衛星を使った放送であり、日本全国どこでも同じ番組をお楽しみいただけます。
地上デジタル放送の場合 .... 放送は各地域の放送局から送信されます。
地域に密着した放送・番組が多く提供される予定です。

●地上デジタル放送を受信するには
本機のほかに、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。
（ほかに、混合器や分波器が必要な場合もあります）

アナログ放送からデジタル放送への移行について

●デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本機で市販のキーボードを使う場合の動作について

各キーの基本動作

● そのときのモードによっては、動作が異なる場合があります。

キー	はたらき
Alt+ひらがな/カタカナ	ローマ字入力/かな入力を切り換えます
Shift+無変換	全角英数モードと半角英数モードを切り換えます
無変換	ひらがなモードと全角カタカナモードを切り換えます
英数/CapsLock	英数モードとひらがなモードを切り換えます
半角/全角/漢字	英数モードでの半角モードと全角モードを切り換えます
Shift+CapsLock	英数モードでの大文字←→小文字を切り換えます
Esc	漢字変換時に押すと、変換中の文字列が削除されます 未確定文字列内にカーソルがある状態で押すと、すべての未確定文字列を消去します 設定の途中などで前の画面に戻ることができます
Enter	未確定文字がある場合、変換中の文字を確定します 未確定文字がない場合、改行します (改行が必要な場合は、文字入力モードを終了します) 選んでいる番組や項目を決定します
Delete	1文字削除します
BackSpace	前文字削除します
Space	変換中の文字がある場合、文字変換します 変換中の文字がない場合、スペースが入力されます
Home	文字カーソルを行頭に移動します
End	文字カーソルを行末に移動します
↑	文字カーソルを矢印の方向に移動します
↓	文字カーソルを矢印の方向に移動します
←	文字カーソルを矢印の方向に移動します
→	文字カーソルを矢印の方向に移動します

キー	はたらき
Shift+↑	選択範囲を指定します
Shift+↓	選択範囲を指定します
Shift+←	選択範囲を指定します
Shift+→	選択範囲を指定します
Ctrl+x	選択範囲を切り取ります
Ctrl+c	選択範囲をコピーします
Ctrl+v	切り取り、コピーした文字を貼り付けます
Windows	このキーは無効です
tab	半角8文字分スペースが入力されます
前候補、変換	文字変換します
Shift+前候補、変換	前変換します
App	このキーは無効です
PrintScan	このキーは無効です
Insert	挿入モードと上書きモードを切り換えます
ScrollLock	このキーは無効です
Pause	このキーは無効です
PageUP ※ PageDown ※	画面表示の中に ▲･▼ のマークがある場合は、ページを切り換えることができます
NumLock	10キーの操作を切り換えます
ファンクション(F1)※	カラーボタン：青
ファンクション(F2)※	カラーボタン：赤
ファンクション(F3)※	カラーボタン：緑
ファンクション(F4)※	カラーボタン：黄
ファンクション(F5)※	Gデータ
ファンクション(F6)※	クイック
ファンクション(F7)	インターネットの起動
ファンクション(F8~F12)	このキーは無効です

● ※印については、リモコンボタンと同じはたらきをします。

10キー操作(NumLockオフの場合)

キーの種類	はたらき
/	"/"が入力されます
*	"*"が入力されます
0／ins	挿入モードと上書きモードを切り換えます
Insert	挿入モードと上書きモードを切り換えます
1／End	文字カーソルを行末に移動します
2／↓	文字カーソルを移動します
3／PgDn	このキーは無効です
4／←	文字カーソルを移動します
5	このキーは無効です
6／→	文字カーソルを移動します
7／Home	文字カーソルを行頭に移動します
8／↑	文字カーソルを移動します
9／PgUp	このキーは無効です
.／Del	1文字削除します
−	"−"が入力されます
+	"+"が入力されます
Enter	変換中の文字を確定します

10キー操作(NumLockオンの場合)

● 通常の10キー操作になります。

本機で市販のキーボードを使う場合の動作について つづき

「ローマ字入力」モードで使うとき

- 以下の表に従って入力してください。
- ひらがなとカタカナを切り換えるときは「無変換キー」を押してください。

入力する文字	キー操作	入力する文字	キー操作	入力する文字	キー操作	入力する文字	キー操作	入力する文字	キー操作
あ	a	よ	yo	ゔぇ	ve	ひゅ	hyu	ぢゅ	dyu
い	i	ら	ra	ゔぉ	vo	ひぇ	hye	ぢぇ	dye
う	u	り	ri	きゃ	kya	ひょ	hyo	ぢょ	dyo
え	e	る	ru	きぃ	kyi	ふぁ	fa	でゃ	dha
お	o	れ	re	きゅ	kyu	ふぃ	fi	でぃ	dhi
か	ka	ろ	ro	きぇ	kye	ふぇ	fe	でゅ	dhu
き	ki	わ	wa	きょ	kyo	ふぉ	fo	でぇ	dhe
く	ku	うぃ	wi	しゃ	sya	ふゃ	fya	でょ	dho
け	ke	う	wu	しゃ	sha	ふぃ	fyi	びゃ	bya
こ	ko	うぇ	we	しぃ	syi	ふゅ	fyu	びぃ	byi
さ	sa	を	wo	しゅ	syu	ふぇ	fye	びゅ	byu
し	shi	ん	nn	しゅ	shu	ふょ	fyo	びぇ	bye
し	si			しぇ	sye	みゃ	mya	びょ	byo
す	su	が	ga	しぇ	she	みぃ	myi	ぴゃ	pya
せ	se	ぎ	gi	しょ	syo	みゅ	myu	ぴぃ	pyi
そ	so	ぐ	gu	しょ	sho	みぇ	mye	ぴゅ	pyu
た	ta	げ	ge			みょ	myo	ぴぇ	pye
ち	chi	ご	go	ちゃ	tya	りゃ	rya	ぴょ	pyo
ち	ti	ざ	za	ちゃ	cya	りぃ	ryi		
つ	tsu	じ	zi	ちゃ	cha	りゅ	ryu	ぁ	xa
つ	tu	じ	ji	ちぃ	tyi	りぇ	rye	ぁ	la
て	te	ず	zu	ちぃ	cyi	りょ	ryo	ぃ	xi
と	to	ぜ	ze	ちゅ	tyu	ぎゃ	gya	ぃ	li
な	na	ぞ	zo	ちゅ	cyu	ぎぃ	gyi	ぅ	xu
に	ni	だ	da	ちゅ	chu	ぎゅ	gyu	ぅ	lu
ぬ	nu	ぢ	di	ちぇ	tye	ぎぇ	gye	ぇ	xe
ね	ne	づ	du	ちぇ	cye	ぎょ	gyo	ぇ	le
の	no	で	de	ちぇ	che	じゃ	zya	ぉ	xo
は	ha	ど	do	ちょ	tyo	じゃ	ja	ぉ	lo
ひ	hi	ば	ba	ちょ	cyo	じゃ	jya	ゃ	xya
ふ	fu	び	bi	ちょ	cho	じぃ	zyi	ゃ	lya
ふ	hu	ぶ	bu	てゃ	tha	じぃ	jyi	ぃ	xyi
へ	he	べ	be	てぃ	thi	じゅ	zyu	ぃ	lyi
ほ	ho	ぼ	bo	てゅ	thu	じゅ	ju	ゅ	xyu
ま	ma			てぇ	the	じゅ	jyu	ゅ	lyu
み	mi	ぱ	pa	てょ	tho	じぇ	zye	ぇ	xye
む	mu	ぴ	pi	にゃ	nya	じぇ	je	ぇ	lye
め	me	ぷ	pu	にぃ	nyi	じぇ	jye	ょ	xyo
も	mo	ぺ	pe	にゅ	nyu	じょ	zyo	ょ	lyo
や	ya	ぽ	po	にぇ	nye	じょ	jo	っ	xtu
い	yi	ゔぁ	va	にょ	nyo	じょ	jyo	っ	ltu
ゆ	yu	ゔぃ	vi	ひゃ	hya	ぢゃ	dya		
いぇ	ye	ゔ	vu	ひぃ	hyi	ぢぃ	dyi		

地上アナログ放送の自動設定一覧表

- 「はじめての設定」（準備編 31ページ）や「地上A自動設定」（準備編 59ページ） をすると、この表にある放送局がリモコンの地上ダイレクト選局ボタン 1 〜 12 に自動設定されます。
- この表にない放送局を受信するとき（受信できる場合）は、「手動設定」（準備編 62ページ）で設定してください。
- お住まいの地域がこの表に記載されていない場合は、近くの地域・都市名で「地上A自動設定」をして、正しく受信できないときは「手動設定」で設定してください。
- 地上デジタル放送開始にともなう「アナログ周波数変更対策」によって、この表のチャンネルの内容が変わることがあります。その場合は「手動設定」で設定してください。
- この表に記載のお使いになる地域・都市名を「はじめての設定」や「地上A自動設定」で選んで設定しても、アンテナの向きや高層物などの影響によって、正しく受信できない場合があります。その場合は準備編 37ページ をご覧ください。
- ダウンロード（操作編 67ページ）によって、この表の内容（自動設定される内容）は、変わる場合があります。
- この表の内容は放送局側の運用変更によって、変わる場合があります。

2005年4月1日現在

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	旭川	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道（TVh）	33	33
			5	北海道文化放送（UHB）	37	37
			6	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
		釧路	2	NHK教育	2	2
			3	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			4	北海道文化放送（UHB）	41	41
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
		北見	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送（HTB）	61	61
			5	北海道文化放送（UHB）	59	59
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	53	53
		網走	1	北海道放送（HBC）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	札幌テレビ放送（STV）	5	5
			7	北海道文化放送（UHB）	27	27
			9	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			12	NHK教育	12	12
		稚内	2	北海道文化放送（UHB）	26	26
			4	NHK総合	28	28
			6	札幌テレビ放送（STV）	22	22
			8	北海道テレビ放送（HTB）	24	24
			10	北海道放送（HBC）	10	10
			12	NHK教育	30	30
北海道	北海道・北部	名寄	2	北海道文化放送（UHB）	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	札幌テレビ放送（STV）	6	6
			8	北海道テレビ放送（HTB）	24	24
			10	北海道放送（HBC）	10	10
			12	NHK教育	12	12
		根室	2	NHK教育	2	2
			5	北海道文化放送（UHB）	62	62
			6	北海道テレビ放送（HTB）	60	60
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
	北海道・南部	札幌	1	北海道放送（HBC）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	テレビ北海道（TVh）	17	17
			5	札幌テレビ放送（STV）	5	5
			7	北海道文化放送（UHB）	27	27
			10	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			12	NHK教育	12	12
		函館	1	北海道文化放送（UHB）	27	27
			3	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			4	NHK総合	4	4
			5	テレビ北海道（TVh）	21	21
			6	北海道放送（HBC）	6	6
			10	NHK教育	10	10
			12	札幌テレビ放送（STV）	12	12
		帯広	1	北海道文化放送（UHB）	32	32
			3	北海道テレビ放送（HTB）	34	34
			4	NHK総合	4	4
			6	北海道放送（HBC）	6	6
			10	札幌テレビ放送（STV）	10	10
			12	NHK教育	12	12
北海道	北海道・南部	苫小牧	2	NHK教育	49	49
			4	北海道テレビ放送（HTB）	61	61
			5	北海道文化放送（UHB）	53	53
			7	札幌テレビ放送（STV）	57	57
			9	NHK総合	51	51
			11	北海道放送（HBC）	55	55
			12	テレビ北海道（TVh）	47	47
		小樽	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送（HTB）	4	4
			5	北海道文化放送（UHB）	26	26
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	北海道放送（HBC）	9	9
			11	NHK総合	11	11
			12	テレビ北海道（TVh）	24	24
		室蘭	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道（TVh）	29	29
			5	北海道文化放送（UHB）	37	37
			6	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
東北	青森	青森	1	青森放送（RAB）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	青森朝日放送（ABA）	34	34
			5	NHK教育	5	5
			12	青森テレビ（ATV）	38	38

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	青森	八戸	2	アイビーシー岩手放送 （ＩＢＣテレビ）	2	2
			3	テレビ岩手	37	37
			4	岩手めんこいテレビ	29	29
			6	岩手朝日テレビ	27	27
			7	ＮＨＫ教育	7	7
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			10	青森朝日放送 （ＡＢＡ）	31	31
			11	青森放送 （ＲＡＢ）	11	11
			12	青森テレビ （ＡＴＶ）	33	33
		むつ	4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	青森朝日放送 （ＡＢＡ）	56	56
			8	青森テレビ （ＡＴＶ）	58	58
			10	青森放送 （ＲＡＢ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	12	12
	岩手	盛岡	1	テレビ岩手	35	35
			4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	アイビーシー岩手放送 （ＩＢＣテレビ）	6	6
			8	ＮＨＫ教育	8	8
			10	岩手めんこいテレビ	33	33
			12	岩手朝日テレビ	31	31
		釜石	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	岩手朝日テレビ	62	62
			6	岩手めんこいテレビ	60	60
			8	テレビ岩手	58	58
			10	アイビーシー岩手放送 （ＩＢＣテレビ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		二戸	2	アイビーシー岩手放送 （ＩＢＣテレビ）	2	2
			4	岩手朝日テレビ	27	27
			5	ＮＨＫ総合	5	5
			8	岩手めんこいテレビ	29	29
			10	テレビ岩手	37	37
			12	ＮＨＫ教育	12	12
	宮城	仙台	1	東北放送 （ＴＢＣテレビ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			5	ＮＨＫ教育	5	5
			7	東日本放送	32	32
			9	宮城テレビ放送 （ミヤギテレビ）	34	34
			12	仙台放送	12	12
		石巻	1	東北放送 （ＴＢＣテレビ）	59	59
			3	ＮＨＫ総合	51	51
			5	ＮＨＫ教育	49	49
			7	東日本放送	61	61
			9	宮城テレビ放送 （ミヤギテレビ）	55	55
			12	仙台放送	57	57
		気仙沼	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	東北放送 （ＴＢＣテレビ）	4	4
			6	仙台放送	6	6
			8	東日本放送	43	43
			10	ＮＨＫ教育	10	10
			12	宮城テレビ放送 （ミヤギテレビ）	37	37

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	秋田	秋田	2	ＮＨＫ教育	2	2
			5	秋田朝日放送	31	31
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			11	秋田放送 （ＡＢＳテレビ）	11	11
			12	秋田テレビ （ＡＫＴ）	37	37
		大館	1	青森放送 （ＲＡＢ）	1	1
			4	ＮＨＫ総合	4	4
			5	秋田朝日放送	59	59
			6	秋田放送 （ＡＢＳテレビ）	6	6
			8	ＮＨＫ教育	8	8
			12	秋田テレビ （ＡＫＴ）	57	57
		大曲・横手	2	ＮＨＫ教育	43	43
			5	秋田朝日放送	41	41
			9	ＮＨＫ総合	45	45
			11	秋田放送 （ＡＢＳテレビ）	47	47
			12	秋田テレビ （ＡＫＴ）	51	51
	山形	山形	4	ＮＨＫ教育	4	4
			6	テレビユー山形 （ＴＵＹ）	36	36
			8	ＮＨＫ総合	8	8
			10	山形放送 （ＹＢＣ山形放送）	10	10
			11	さくらんぼテレビジョン （さくらんぼテレビ）	30	30
			12	山形テレビ	38	38
		鶴岡・酒田	1	山形放送 （ＹＢＣ山形放送）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			6	ＮＨＫ教育	6	6
			8	テレビユー山形 （ＴＵＹ）	22	22
			11	さくらんぼテレビジョン （さくらんぼテレビ）	24	24
			12	山形テレビ	39	39
		米沢	2	さくらんぼテレビジョン （さくらんぼテレビ）	60	60
			4	ＮＨＫ教育	50	50
			6	テレビユー山形 （ＴＵＹ）	56	56
			8	ＮＨＫ総合	52	52
			10	山形放送 （ＹＢＣ山形放送）	54	54
			12	山形テレビ	58	58
		新庄	2	ＮＨＫ教育	2	2
			4	さくらんぼテレビジョン （さくらんぼテレビ）	28	28
			6	テレビユー山形 （ＴＵＹ）	26	26
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			11	山形放送 （ＹＢＣ山形放送）	11	11
			12	山形テレビ	58	58
	福島	福島・郡山	2	ＮＨＫ教育	2	2
			4	テレビユー福島	31	31
			6	福島中央テレビ	33	33
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			10	福島放送 （ＫＦＢ）	35	35
			11	福島テレビ （ＦＴＶ）	11	11

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	福島	いわき	4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	福島中央テレビ	58	58
			7	テレビユー福島	62	62
			8	福島テレビ （ＦＴＶ）	8	8
			10	ＮＨＫ教育	10	10
			12	福島放送 （ＫＦＢ）	60	60
		会津若松	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	テレビユー福島	47	47
			6	福島テレビ （ＦＴＶ）	6	6
			8	福島中央テレビ	37	37
			10	福島放送 （ＫＦＢ）	41	41
関東	茨城	水戸	1	ＮＨＫ総合	44	1
			3	ＮＨＫ教育	46	3
			4	日本テレビ放送網 （日本テレビ）	42	4
			6	東京放送 （ＴＢＳ）	40	6
			8	フジテレビジョン （フジテレビ）	38	8
			10	テレビ朝日	36	10
			12	テレビ東京	32	12
		日立	1	ＮＨＫ総合	52	1
			3	ＮＨＫ教育	50	3
			4	日本テレビ放送網 （日本テレビ）	54	4
			6	東京放送 （ＴＢＳ）	56	6
			8	フジテレビジョン （フジテレビ）	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
	栃木	宇都宮	1	ＮＨＫ総合	51	1
			3	ＮＨＫ教育	49	3
			4	日本テレビ放送網 （日本テレビ）	53	4
			5	とちぎテレビ	31	31
			6	東京放送 （ＴＢＳ）	55	6
			8	フジテレビジョン （フジテレビ）	57	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	44	12
		矢板	1	ＮＨＫ総合	40	1
			3	ＮＨＫ教育	30	3
			4	日本テレビ放送網 （日本テレビ）	36	4
			5	とちぎテレビ	33	31
			6	東京放送 （ＴＢＳ）	42	6
			8	フジテレビジョン （フジテレビ）	45	8
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
	群馬	前橋	1	ＮＨＫ総合	52	1
			3	ＮＨＫ教育	50	3
			4	日本テレビ放送網 （日本テレビ）	54	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送 （ＴＢＳ）	56	6
			7	テレビ埼玉	38	38
			8	フジテレビジョン （フジテレビ）	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	62	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	群馬	桐生	1	ＮＨＫ総合	51	1
			3	ＮＨＫ教育	57	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送（ＴＢＳ）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	35	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	41	48
			12	テレビ東京	61	12
	埼玉	さいたま	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（ＴＢＳ）	6	6
			7	テレビ埼玉	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			10	テレビ朝日	10	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	12	12
		熊谷・児玉	1	ＮＨＫ総合	51	1
			3	ＮＨＫ教育	35	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	55	6
			7	テレビ埼玉	30	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	61	12
		秩父	1	ＮＨＫ総合	14	1
			3	ＮＨＫ教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	16	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	18	6
			7	テレビ埼玉	47	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	29	8
			10	テレビ朝日	38	10
			12	テレビ東京	44	12
	千葉	千葉・船橋	1	ＮＨＫ総合	1	1
			2	東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	14	14
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（ＴＢＳ）	6	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		銚子	1	ＮＨＫ総合	51	1
			3	ＮＨＫ教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	39	46
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	東京	23区	1	ＮＨＫ総合	1	1
			2	放送大学	16	16
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	14	14
			6	東京放送（ＴＢＳ）	6	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11	テレビ埼玉	38	38
			12	テレビ東京	12	12
		八王子	1	ＮＨＫ総合	33	1
			3	ＮＨＫ教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	40	14
			6	東京放送（ＴＢＳ）	37	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	31	8
			10	テレビ朝日	45	10
			12	テレビ東京	62	12
		多摩	1	ＮＨＫ総合	49	1
			3	ＮＨＫ教育	47	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	61	14
			6	東京放送（ＴＢＳ）	53	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12
	神奈川	横浜・川崎	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（ＴＢＳ）	6	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		横浜みなと	1	ＮＨＫ総合	52	1
			3	ＮＨＫ教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	56	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	48	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	46	46
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	神奈川	平塚・茅ケ崎	1	ＮＨＫ総合	33	1
			3	ＮＨＫ教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	37	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	31	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	39	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	43	12
		小田原	1	ＮＨＫ総合	52	1
			3	ＮＨＫ教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	56	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	46	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
		秦野	1	ＮＨＫ総合	47	1
			3	ＮＨＫ教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	53	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	61	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12
甲信越	新潟	新潟	3	新潟テレビ21（ＮＴ21）	21	21
			4	テレビ新潟放送網（ＴｅＮＹ）	29	29
			5	新潟放送（ＢＳＮ新潟放送）	5	5
			8	ＮＨＫ総合	8	8
			10	新潟総合テレビ	35	35
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		上越	1	ＮＨＫ教育	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			6	新潟テレビ21（ＮＴ21）	37	37
			8	テレビ新潟放送網（ＴｅＮＹ）	27	27
			10	新潟放送（ＢＳＮ新潟放送）	10	10
			12	新潟総合テレビ	33	33
	山梨	※	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			5	山梨放送（ＹＢＳ）	5	5
			6	テレビ山梨（ＵＴＹ）	37	37
	長野	長野（美ヶ原）	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	長野朝日放送（ＡＢＮ）	20	20
			6	テレビ信州	30	30
			9	ＮＨＫ教育	9	9
			10	長野放送（ＮＢＳ）	38	38
			11	信越放送	11	11

※山梨は、甲府地域のチャンネルが設定されます。

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
甲信越	長野	長野（善光寺平）	2	ＮＨＫ総合	44	44
			4	長野朝日放送（ＡＢＮ）	50	50
			6	テレビ信州	40	40
			9	ＮＨＫ教育	46	46
			10	長野放送（ＮＢＳ）	42	42
			11	信越放送	48	48
		松本	2	ＮＨＫ総合	44	44
			4	長野朝日放送（ＡＢＮ）	50	50
			6	テレビ信州	48	48
			9	ＮＨＫ教育	46	46
			10	長野放送（ＮＢＳ）	42	42
			11	信越放送	40	40
		飯田	3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	テレビ信州	42	42
			10	長野放送（ＮＢＳ）	40	40
			12	長野朝日放送（ＡＢＮ）	44	44
		岡谷・諏訪	1	長野朝日放送（ＡＢＮ）	61	61
			4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	ＮＨＫ教育	8	8
			10	テレビ信州	59	59
			12	長野放送（ＮＢＳ）	47	47
中部	富山	富山	1	北日本放送	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			6	チューリップテレビ	32	32
			10	ＮＨＫ教育	10	10
			12	富山テレビ放送（ＢＢＴ）	34	34
		高岡	1	北日本放送	50	1
			3	ＮＨＫ総合	48	3
			6	チューリップテレビ	42	32
			10	ＮＨＫ教育	46	10
			12	富山テレビ放送（ＢＢＴ）	44	34
	石川	金沢	4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	北陸放送（ＭＲＯ）	6	6
			7	北陸朝日放送（ＨＡＢ）	25	25
			8	ＮＨＫ教育	8	8
			10	テレビ金沢	33	33
			12	石川テレビ放送（石川テレビ）	37	37
		七尾	1	テレビ金沢	57	57
			3	北陸朝日放送（ＨＡＢ）	59	59
			5	ＮＨＫ教育	5	5
			7	石川テレビ放送（石川テレビ）	55	55
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			11	北陸放送（ＭＲＯ）	11	11
	福井	福井	3	ＮＨＫ教育	3	3
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			11	福井放送（ＦＢＣテレビ）	11	11
			12	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	39	39
		敦賀	6	ＮＨＫ総合	6	6
			8	福井放送（ＦＢＣテレビ）	8	8
			10	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	38	38
			12	ＮＨＫ教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	岐阜	岐阜	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			5	中部日本放送（ＣＢＣ）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	ＮＨＫ教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		長良	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	57
			3	ＮＨＫ総合	53	53
			5	中部日本放送（ＣＢＣ）	55	55
			9	ＮＨＫ教育	49	49
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	61	61
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	59	59
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	47
		高山	2	ＮＨＫ教育	2	2
			3	中京テレビ放送（中京テレビ）	26	26
			4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	中部日本放送（ＣＢＣ）	6	6
			8	東海テレビ放送（東海テレビ）	8	8
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	38	38
			12	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	12	12
		各務原	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			5	中部日本放送（ＣＢＣ）	5	5
			9	ＮＨＫ教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		中津川	3	中京テレビ放送（中京テレビ）	26	26
			4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	6	6
			8	中部日本放送（ＣＢＣ）	8	8
			10	東海テレビ放送（東海テレビ）	10	10
			11	岐阜放送（岐阜テレビ）	28	28
			12	ＮＨＫ教育	12	12
	静岡	静岡	2	ＮＨＫ教育	2	2
			4	静岡第一テレビ	31	31
			6	静岡朝日テレビ	33	33
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			11	静岡放送（ＳＢＳテレビ）	11	11
			12	テレビ静岡	35	35
		浜松	2	静岡第一テレビ	30	30
			4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	静岡放送（ＳＢＳテレビ）	6	6
			8	ＮＨＫ教育	8	8
			10	静岡朝日テレビ	28	28
			12	テレビ静岡	34	34

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	静岡	三島・沼津	2	ＮＨＫ教育	51	51
			3	静岡第一テレビ	61	61
			5	静岡朝日テレビ	57	57
			7	テレビ静岡	59	59
			9	ＮＨＫ総合	53	53
			11	静岡放送（ＳＢＳテレビ）	55	55
		島田	1	ＮＨＫ総合	56	56
			3	ＮＨＫ教育	54	54
			5	静岡放送（ＳＢＳテレビ）	62	62
			7	静岡第一テレビ	48	48
			10	静岡朝日テレビ	50	50
			12	テレビ静岡	58	58
		富士	2	ＮＨＫ教育	54	54
			3	静岡第一テレビ	27	27
			5	静岡朝日テレビ	29	29
			7	テレビ静岡	39	39
			9	ＮＨＫ総合	52	52
			11	静岡放送（ＳＢＳテレビ）	41	41
		藤枝	1	ＮＨＫ総合	42	42
			3	ＮＨＫ教育	44	44
			5	静岡放送（ＳＢＳテレビ）	40	40
			7	静岡第一テレビ	24	24
			10	静岡朝日テレビ	26	26
			12	テレビ静岡	38	38
	愛知	名古屋	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			5	中部日本放送（ＣＢＣ）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	ＮＨＫ教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		豊橋	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	56	1
			3	ＮＨＫ総合	54	3
			5	中部日本放送（ＣＢＣ）	62	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	52	25
			9	ＮＨＫ教育	50	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	60	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	58	35
		豊田	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			3	ＮＨＫ総合	53	3
			5	中部日本放送（ＣＢＣ）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	49	25
			9	ＮＨＫ教育	51	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	59	35

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	三重	津	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		伊勢	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			3	NHK総合	53	3
			5	中部日本放送（CBC）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	59	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	49	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	35
		名張	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	62	1
			3	NHK総合	52	3
			5	中部日本放送（CBC）	60	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	58	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	56	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	54	35
近畿	滋賀	大津	2	NHK総合	28	2
			4	毎日放送	36	4
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	びわ湖放送（BBCびわ湖放送）	30	30
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	NHK教育	46	12
		彦根	2	NHK総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	びわ湖放送（BBCびわ湖放送）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK教育	50	12
近畿	京都	京都	2	NHK総合	32	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			12	NHK教育	12	12
		山科	2	NHK総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	56	6
			7	京都放送（KBS京都）	62	62
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			12	NHK教育	50	12
		福知山	2	NHK総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			7	京都放送（KBS京都）	56	56
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK教育	52	12
		舞鶴	2	NHK総合	51	2
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送（ABC）	55	6
			7	京都放送（KBS京都）	57	57
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	NHK教育	49	12
	大阪	※	2	NHK総合	2	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			12	NHK教育	12	12
	兵庫	神戸	2	NHK総合	28	28
			4	毎日放送	31	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	41	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	43	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	47	10
			12	NHK教育	45	12
近畿	兵庫	姫路	2	NHK総合	50	50
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK教育	52	12
		明石	2	NHK総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	57	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	NHK教育	49	12
		川西	2	NHK総合	29	29
			4	毎日放送	35	4
			6	朝日放送（ABC）	37	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	39	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	33	33
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	41	10
			12	NHK教育	31	12
		灘	2	NHK総合	52	52
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	56	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	62	62
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			12	NHK教育	50	12
		長田	2	NHK総合	44	44
			4	毎日放送	38	4
			6	朝日放送（ABC）	40	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	42	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	34	34
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	48	10
			12	NHK教育	46	12
		北淡・垂水	2	NHK総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送（ABC）	57	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	NHK教育	49	12

※大阪は、大阪地域のチャンネルが設定されます。

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	三木	2	ＮＨＫ総合	44	44
			4	毎日放送	34	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	38	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	ＮＨＫ教育	46	12
	奈良	奈良	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			5	京都放送（ＫＢＳ京都）	34	34
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	6	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	55	55
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		生駒	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	6	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	26	55
			12	ＮＨＫ教育	22	12
		五條	2	ＮＨＫ総合	43	2
			4	毎日放送	33	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	35	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	37	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	39	10
			11	奈良テレビ放送	41	55
			12	ＮＨＫ教育	45	12
	和歌山	和歌山	2	ＮＨＫ総合	32	2
			4	毎日放送	42	4
			5	テレビ和歌山	30	30
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	44	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	46	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	48	10
			12	ＮＨＫ教育	25	12
		海南・田辺	2	ＮＨＫ総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ和歌山	56	56
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	ＮＨＫ教育	52	12
		新宮	2	ＮＨＫ総合	44	2
			4	毎日放送	36	4
			5	テレビ和歌山	34	34
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	38	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	ＮＨＫ教育	46	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	鳥取	鳥取	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	ＮＨＫ教育	4	4
			10	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	22	22
			12	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	24	24
		米子	3	ＮＨＫ総合	42	42
			5	ＮＨＫ教育	5	5
			8	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	8	8
			10	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	10	10
			12	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	34	34
		倉吉	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	ＮＨＫ教育	4	4
			8	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	58	58
			10	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	56	56
	島根	松江	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	30	30
			6	ＮＨＫ総合	6	6
			8	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	34	34
			10	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		浜田	2	ＮＨＫ総合	2	2
			3	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	54	54
			5	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	5	5
			8	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	58	58
			9	ＮＨＫ教育	9	9
	岡山	岡山	3	ＮＨＫ教育	3	3
			5	ＮＨＫ総合	5	5
			6	テレビせとうち	23	23
			7	瀬戸内海放送	25	25
			9	西日本放送	9	9
			11	山陽放送（ＲＳＫ）	11	11
			12	岡山放送（ＯＨＫ）	35	35
		津山	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	テレビせとうち	56	56
			6	瀬戸内海放送	62	62
			7	山陽放送（ＲＳＫ）	7	7
			9	西日本放送	58	58
			11	岡山放送（ＯＨＫ）	60	60
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		笠岡	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	ＮＨＫ教育	4	4
			5	テレビせとうち	19	19
			6	山陽放送（ＲＳＫ）	6	6
			9	西日本放送	17	17
			10	瀬戸内海放送	21	21
			11	岡山放送（ＯＨＫ）	60	60

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	広島	広島	1	テレビ新広島（ＴＳＳ）	31	31
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	中国放送（ＲＣＣ）	4	4
			7	ＮＨＫ教育	7	7
			9	広島ホームテレビ	35	35
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12
		福山	1	テレビ新広島（ＴＳＳ）	54	54
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			5	ＮＨＫ総合	5	5
			7	中国放送（ＲＣＣ）	7	7
			9	広島ホームテレビ	57	57
			11	広島テレビ放送（広島テレビ）	11	11
		呉	1	ＮＨＫ教育	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	広島テレビ放送（広島テレビ）	5	5
			7	テレビ新広島（ＴＳＳ）	26	26
			9	中国放送（ＲＣＣ）	9	9
			11	ＮＨＫ総合	11	11
		尾道	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	テレビ新広島（ＴＳＳ）	26	26
			7	ＮＨＫ教育	7	7
			10	中国放送（ＲＣＣ）	10	10
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12
	山口	山口	1	ＮＨＫ教育	42	42
			6	山口朝日放送（ＹＡＢ山口朝日放送）	52	52
			7	テレビ山口（ＴＹＳ）	49	49
			9	ＮＨＫ総合	44	44
			11	山口放送（ＫＲＹ山口放送）	46	46
		下関	1	ＮＨＫ教育	41	41
			3	ティー・ヴィー・キュー九州放送（ＴＶＱ九州放送）	23	23
			4	山口放送（ＫＲＹ山口放送）	4	4
			6	山口朝日放送（ＹＡＢ山口朝日放送）	21	21
			7	テレビ山口（ＴＹＳ）	33	33
			9	ＮＨＫ総合	39	39
			10	テレビ西日本（ＴＮＣ）	10	10
			12	福岡放送（ＦＢＳ）	35	35
		宇部	1	ＮＨＫ教育	14	14
			6	山口朝日放送（ＹＡＢ山口朝日放送）	31	31
			7	テレビ山口（ＴＹＳ）	20	20
			9	ＮＨＫ総合	16	16
			10	テレビ西日本（ＴＮＣ）	10	10
			11	山口放送（ＫＲＹ山口放送）	18	18

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	山口	岩国	1	ＮＨＫ教育	1	1
			6	山口朝日放送 （ＹＡＢ山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口 （ＴＹＳ）	22	22
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			11	山口放送 （ＫＲＹ山口放送）	11	11
		防府	1	ＮＨＫ教育	1	1
			6	山口朝日放送 （ＹＡＢ山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口 （ＴＹＳ）	38	38
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			11	山口放送 （ＫＲＹ山口放送）	11	11
四国	徳島	※	1	四国放送	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送 （ＡＢＣ）	6	6
			8	関西テレビ放送 （関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送 （よみうりテレビ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	38	12
	香川	高松	3	ＮＨＫ教育	39	39
			5	ＮＨＫ総合	37	37
			6	テレビせとうち	19	19
			7	瀬戸内海放送	33	33
			9	西日本放送	41	41
			11	山陽放送 （ＲＳＫ）	29	29
			12	岡山放送 （ＯＨＫ）	31	31
		丸亀	3	ＮＨＫ教育	40	40
			5	ＮＨＫ総合	44	44
			6	テレビせとうち	16	16
			7	瀬戸内海放送	42	42
			9	西日本放送	20	20
			11	山陽放送 （ＲＳＫ）	18	18
			12	岡山放送 （ＯＨＫ）	22	22
	愛媛	松山	2	ＮＨＫ教育	2	2
			6	ＮＨＫ総合	6	6
			8	あいテレビ	29	29
			9	愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	25	25
			10	南海放送 （ＲＮＢ）	10	10
			11	広島ホームテレビ	35	35
			12	愛媛放送 （テレビ愛媛）	37	37
		今治	2	ＮＨＫ教育	30	30
			6	ＮＨＫ総合	32	32
			8	あいテレビ	27	27
			9	愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	17	17
			10	南海放送 （ＲＮＢ）	34	34
			12	愛媛放送 （テレビ愛媛）	36	36
		新居浜	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	ＮＨＫ教育	4	4
			6	南海放送 （ＲＮＢ）	6	6
			7	愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	14	14
			8	あいテレビ	27	27
			12	愛媛放送 （テレビ愛媛）	36	36

※徳島は、徳島地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
四国	愛媛	宇和島	1	ＮＨＫ教育	1	1
			6	ＮＨＫ総合	6	6
			8	あいテレビ	34	34
			9	愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	16	16
			10	南海放送 （ＲＮＢ）	10	10
			12	愛媛放送 （テレビ愛媛）	32	32
	高知	高知	4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	ＮＨＫ教育	6	6
			8	高知放送 （ＲＫＣ）	8	8
			10	テレビ高知 （ＫＵＴＶ）	38	38
			12	高知さんさんテレビ （さんさんテレビ）	40	40
		中村	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	高知放送 （ＲＫＣ）	3	3
			6	テレビ高知 （ＫＵＴＶ）	32	32
			8	高知さんさんテレビ （さんさんテレビ）	14	14
			11	ＮＨＫ教育	11	11
九州・沖縄	福岡	福岡	1	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	4	4
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	19	19
			6	ＮＨＫ教育	6	6
			9	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	9	9
			12	福岡放送 （ＦＢＳ）	37	37
		北九州	2	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	2	2
			3	福岡放送 （ＦＢＳ）	35	35
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	23	23
			6	ＮＨＫ総合	6	6
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	8	8
			10	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		久留米	1	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	57	57
			3	ＮＨＫ総合	46	46
			4	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	48	48
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	14	14
			6	ＮＨＫ教育	54	54
			9	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	60	60
			12	福岡放送 （ＦＢＳ）	52	52
		大牟田	1	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	58	58
			3	ＮＨＫ総合	53	53
			4	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	61	61
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	19	19
			6	ＮＨＫ教育	50	50
			9	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	55	55
			12	福岡放送 （ＦＢＳ）	43	43

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	行橋	2	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	57	57
			3	福岡放送 （ＦＢＳ）	43	43
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	19	19
			6	ＮＨＫ総合	49	49
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	60	60
			10	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	54	54
			12	ＮＨＫ教育	46	46
	佐賀	佐賀	2	ＮＨＫ教育	40	40
			3	福岡放送 （ＦＢＳ）	52	52
			4	サガテレビ	36	36
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	14	14
			6	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	48	48
			9	ＮＨＫ総合	38	38
			10	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	60	60
			11	熊本放送 （ＲＫＫ）	11	11
		伊万里	1	ＮＨＫ教育	44	44
			3	福岡放送 （ＦＢＳ）	52	52
			4	サガテレビ	41	41
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	14	14
			6	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	48	48
			9	ＮＨＫ総合	51	51
			10	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	60	60
			11	熊本放送 （ＲＫＫ）	11	11
	長崎	長崎	1	ＮＨＫ教育	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			5	長崎放送 （ＮＢＣ）	5	5
			7	テレビ長崎 （ＫＴＮ）	37	37
			9	長崎文化放送 （ＮＣＣ）	27	27
			11	長崎国際テレビ	25	25
		佐世保	2	ＮＨＫ教育	2	2
			6	長崎文化放送 （ＮＣＣ）	31	31
			7	テレビ長崎 （ＫＴＮ）	35	35
			8	ＮＨＫ総合	8	8
			10	長崎放送 （ＮＢＣ）	10	10
			11	長崎国際テレビ	17	17
		諫早	1	ＮＨＫ教育	45	45
			3	ＮＨＫ総合	47	47
			5	長崎放送 （ＮＢＣ）	49	49
			7	テレビ長崎 （ＫＴＮ）	42	42
			9	長崎文化放送 （ＮＣＣ）	24	24
			11	長崎国際テレビ	20	20

次のページ
につづく

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	熊本	熊本	2	NHK教育	2	2
			3	熊本朝日放送（KAB）	16	16
			4	熊本県民テレビ（KKT）	22	22
			6	テレビ熊本（TKU）	34	34
			9	NHK総合	9	9
			11	熊本放送（RKK）	11	11
		水俣	1	NHK教育	1	1
			3	熊本朝日放送（KAB）	32	32
			4	NHK総合	4	4
			6	熊本放送（RKK）	6	6
			8	熊本県民テレビ（KKT）	36	36
			10	テレビ熊本（TKU）	38	38
	大分	大分	3	NHK総合	3	3
			5	大分放送（OBS）	5	5
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	24	24
			7	テレビ大分（TOS）	36	36
			12	NHK教育	12	12
		中津	3	NHK総合	48	48
			5	大分放送（OBS）	51	51
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	17	17
			7	テレビ大分（TOS）	37	37
			12	NHK教育	45	45

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	大分	佐伯	1	NHK教育	1	1
			5	テレビ大分（TOS）	49	49
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	31	31
			7	NHK総合	7	7
			9	大分放送（OBS）	9	9
	宮崎	宮崎	3	テレビ宮崎（UMK）	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	宮崎放送（MRT）	10	10
			12	NHK教育	12	12
		延岡	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	宮崎放送（MRT）	6	6
			8	テレビ宮崎（UMK）	39	39
	鹿児島	鹿児島	1	南日本放送（MBC）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	NHK教育	5	5
			7	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	32	32
			9	鹿児島テレビ放送（KTS）	38	38
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	30	30

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	鹿児島	鹿屋	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	南日本放送（MBC）	6	6
			8	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	31	31
			10	鹿児島テレビ放送（KTS）	33	33
			12	鹿児島読売テレビ（KYT）	25	25
		阿久根	4	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	23	23
			6	鹿児島テレビ放送（KTS）	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	南日本放送（MBC）	10	10
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	17	17
			12	NHK教育	12	12
	沖縄	※	2	NHK総合	2	2
			6	琉球朝日放送（QAB）	28	28
			8	沖縄テレビ放送（OTV）	8	8
			10	琉球放送（RBC）	10	10
			12	NHK教育	12	12

※沖縄は、那覇地域のチャンネルが設定されます。

地上デジタル放送の放送（予定）一覧表

● この表は、地上デジタル放送の放送予定を表したものです。
　同時に、以下についても記載しています。

(1) 域内（お住まいの地域）の放送がリモコンボタンに自動設定される目安

・「はじめての設定」（準備編 31 ）や「地上D自動設定」（準備編 60 〜 61 ）をすると、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを探してリモコンの地上ダイレクト選局ボタン 1あ 〜 12っ に放送の運用規定に基づいて自動設定をします。この表では、その際に域内のどの放送局がどのリモコンボタンに自動設定されるのか、その目安を記載しています。

(2) 番組表に表示される域内の放送局の順番（目安）

● この表をご覧の際には、次ページの「お知らせ」もよくお読みください。
● 放送局の開局の状況などによっては、この表のとおり（上記のとおり）にならない場合があります。

2004年12月14日現在

地方名	地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	北海道全域（区域放送開始前）	1	ＨＢＣ北海道放送	3
		2	ＮＨＫ教育・札幌	2
		3	ＮＨＫ総合・札幌	1
		5	ＳＴＶ札幌テレビ	4
		6	ＨＴＢ北海道テレビ	5
		7	ＴＶＨ	7
		8	ＵＨＢ	6
	旭川（区域放送開始後）	1	ＨＢＣ旭川	3
		2	ＮＨＫ教育・旭川	2
		3	ＮＨＫ総合・旭川	1
		5	ＳＴＶ旭川	4
		6	ＨＴＢ旭川	5
		7	ＴＶＨ旭川	7
		8	ＵＨＢ旭川	6
	釧路（区域放送開始後）	1	ＨＢＣ釧路	3
		2	ＮＨＫ教育・釧路	2
		3	ＮＨＫ総合・釧路	1
		5	ＳＴＶ釧路	4
		6	ＨＴＢ釧路	5
		7	ＴＶＨ釧路	7
		8	ＵＨＢ釧路	6
	北見（区域放送開始後）	1	ＨＢＣ北見	3
		2	ＮＨＫ教育・北見	2
		3	ＮＨＫ総合・北見	1
		5	ＳＴＶ北見	4
		6	ＨＴＢ北見	5
		7	ＴＶＨ北見	7
		8	ＵＨＢ北見	6
	帯広（区域放送開始後）	1	ＨＢＣ帯広	3
		2	ＮＨＫ教育・帯広	2
		3	ＮＨＫ総合・帯広	1
		5	ＳＴＶ帯広	4
		6	ＨＴＢ帯広	5
		7	ＴＶＨ帯広	7
		8	ＵＨＢ帯広	6
	札幌（区域放送開始後）	1	ＨＢＣ札幌	3
		2	ＮＨＫ教育・札幌	2
		3	ＮＨＫ総合・札幌	1
		5	ＳＴＶ札幌	4
		6	ＨＴＢ札幌	5
		7	ＴＶＨ札幌	7
		8	ＵＨＢ札幌	6
	函館（区域放送開始後）	1	ＨＢＣ函館	3
		2	ＮＨＫ教育・函館	2
		3	ＮＨＫ総合・函館	1
		5	ＳＴＶ函館	4
		6	ＨＴＢ函館	5
		7	ＴＶＨ函館	7
		8	ＵＨＢ函館	6
	室蘭（区域放送開始前）	1	ＨＢＣ室蘭	3
		2	ＮＨＫ教育・室蘭	2
		3	ＮＨＫ総合・室蘭	1
		5	ＳＴＶ室蘭	4
		6	ＨＴＢ室蘭	5
		7	ＴＶＨ室蘭	7
		8	ＵＨＢ室蘭	6

地方名	都道府県名または地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
東北	青森	1	ＲＡＢ青森放送	3
		2	ＮＨＫ教育・青森	2
		3	ＮＨＫ総合・青森	1
		5	青森朝日放送	5
		6	ＡＴＶ青森テレビ	4
	岩手	1	ＮＨＫ総合・盛岡　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・盛岡　※3	2
		4	テレビ岩手	4
		5	岩手朝日テレビ	6
		6	ＩＢＣテレビ	3
		8	めんこいテレビ	5
	宮城	1	ＴＢＣテレビ	3
		2	ＮＨＫ教育・仙台	2
		3	ＮＨＫ総合・仙台	1
		4	ミヤギテレビ	5
		5	ＫＨＢ東日本放送	6
		8	仙台放送	4
	秋田	1	ＮＨＫ総合・秋田	1
		2	ＮＨＫ教育・秋田	2
		4	ＡＢＳ秋田放送	3
		5	ＡＡＢ秋田朝日放送	5
		8	ＡＫＴ秋田テレビ	4
	山形	1	ＮＨＫ総合・山形	1
		2	ＮＨＫ教育・山形	2
		4	ＹＢＣ山形放送	3
		5	ＹＴＳ山形テレビ	4
		6	テレビユー山形	5
		8	さくらんぼテレビ	6
	福島	1	ＮＨＫ総合・福島　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・福島　※3	2
		4	福島中央テレビ	4
		5	ＫＦＢ福島放送	5
		6	テレビユー福島	6
		8	福島テレビ	3
関東	茨城	1	ＮＨＫ総合・水戸　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	8
	栃木	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	とちぎテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
関東	群馬	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	群馬テレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	埼玉	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	テレビ埼玉	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	千葉	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	ちばテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	東京	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9	東京ＭＸテレビ	8
		12	放送大学	9
	神奈川	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	ｔｖｋ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9

地上デジタル放送の放送（予定）一覧表 つづき

地方名	地域・都市名	リモコンボタン※１	放送局名	番組表表示の並び順
甲信越	新潟	1	ＮＨＫ総合・新潟	1
		2	ＮＨＫ教育・新潟	2
		4	ＴｅＮＹテレビ新潟	5
		5	新潟テレビ２１	6
		6	ＢＳＮ	3
		8	ＮＳＴ	4
	山梨	1	ＮＨＫ総合・甲府 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・甲府 ※3	2
		4	ＹＢＳ山梨放送	3
		6	ＵＴＹ	4
	長野	1	ＮＨＫ総合・長野	1
		2	ＮＨＫ教育・長野	2
		4	テレビ信州	3
		5	ＡＢＮ長野朝日放送	4
		6	ＳＢＣ信越放送	5
		8	ＮＢＳ長野放送	6
中部	富山	1	ＫＮＢ北日本放送	3
		2	ＮＨＫ教育・富山 ※3	2
		3	ＮＨＫ総合・富山 ※3	1
		6	チューリップテレビ	5
		8	ＢＢＴ富山テレビ	4
	石川	1	ＮＨＫ総合・金沢 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・金沢 ※3	2
		4	テレビ金沢	3
		5	北陸朝日放送	4
		6	ＭＲＯ	5
		8	石川テレビ	6
	福井	1	ＮＨＫ総合・福井 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・福井 ※3	2
		7	ＦＢＣテレビ	3
		8	福井テレビ	4
	静岡	1	ＮＨＫ総合・静岡	1
		2	ＮＨＫ教育・静岡	2
		4	静岡第一テレビ	5
		5	静岡朝日テレビ	6
		6	ＳＢＳ	3
		8	テレビ静岡	4
	愛知	1	東海テレビ	3
		2	ＮＨＫ教育・名古屋	2
		3	ＮＨＫ総合・名古屋	1
		4	中京テレビ	6
		5	ＣＢＣ	4
		6	メ～テレ	5
		10	テレビ愛知	7
	三重	1	東海テレビ	3
		2	ＮＨＫ教育・名古屋	2
		3	ＮＨＫ総合・津 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	ＣＢＣ	4
		6	メ～テレ	5
		7	三重テレビ	7
	岐阜	1	東海テレビ	3
		2	ＮＨＫ教育・名古屋	2
		3	ＮＨＫ総合・岐阜 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	ＣＢＣ	4
		6	メ～テレ	5
		8	岐阜テレビ	7
近畿	滋賀	1	ＮＨＫ総合・大津 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		3	ＢＢＣびわ湖放送	7
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		6	ＡＢＣテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6

地方名	地域・都市名	リモコンボタン※１	放送局名	番組表表示の並び順
近畿	京都	1	ＮＨＫ総合・京都 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		5	ＫＢＳ京都	7
		6	ＡＢＣテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
	大阪	1	ＮＨＫ総合・大阪	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		6	ＡＢＣテレビ	4
		7	テレビ大阪	7
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
	兵庫	1	ＮＨＫ総合・神戸 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		3	サンテレビ	7
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		6	ＡＢＣテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
	奈良	1	ＮＨＫ総合・奈良 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		6	ＡＢＣテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		9	奈良テレビ	7
		10	よみうりテレビ	6
	和歌山	1	ＮＨＫ総合・和歌山 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		5	テレビ和歌山	7
		6	ＡＢＣテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
中国	鳥取	1	日本海テレビ	5
		2	ＮＨＫ教育・鳥取 ※3	2
		3	ＮＨＫ総合・鳥取 ※3	1
		6	ＢＳＳテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	島根	1	日本海テレビ	5
		2	ＮＨＫ教育・松江 ※3	2
		3	ＮＨＫ総合・松江 ※3	1
		6	ＢＳＳテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	岡山	1	ＮＨＫ総合・岡山 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・岡山 ※3	2
		4	ＲＮＣ西日本テレビ	3
		5	ＫＳＢ瀬戸内海放送	4
		6	ＲＳＫテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	ＯＨＫテレビ	7
	広島	1	ＮＨＫ総合・広島	1
		2	ＮＨＫ教育・広島	2
		3	ＲＣＣテレビ	3
		4	広島テレビ	4
		5	広島ホームテレビ	5
		8	ＴＳＳ	6
	山口	1	ＮＨＫ総合・山口 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・山口 ※3	2
		3	ＴＹＳテレビ山口	4
		4	ＫＲＹ山口放送	3
		5	ＹＡＢ山口朝日	5

地方名	地域・都市名	リモコンボタン※１	放送局名	番組表表示の並び順
四国	徳島	1	四国放送	3
		2	ＮＨＫ教育・徳島 ※3	2
		3	ＮＨＫ総合・徳島 ※3	1
	香川	1	ＮＨＫ総合・高松 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・高松 ※3	2
		4	ＲＮＣ西日本テレビ	3
		5	ＫＳＢ瀬戸内海放送	4
		6	ＲＳＫテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	ＯＨＫテレビ	7
	愛媛	1	ＮＨＫ総合・松山	1
		2	ＮＨＫ教育・松山	2
		4	南海放送	3
		5	愛媛朝日	4
		6	あいテレビ	5
		8	テレビ愛媛	6
	高知	1	ＮＨＫ総合・高知	1
		2	ＮＨＫ教育・高知	2
		4	高知放送	3
		6	テレビ高知	4
		8	さんさんテレビ	5
九州・沖縄	福岡	1	ＫＢＣ九州朝日放送	3
		2	ＮＨＫ教育・福岡 ＮＨＫ教育・北九州 ※2	2
		3	ＮＨＫ総合・福岡 ＮＨＫ総合・北九州 ※2	1
		4	ＲＫＢ毎日放送	4
		5	ＦＢＳ福岡放送	5
		7	TVQ九州放送	6
		8	ＴＮＣテレビ西日本	7
	佐賀	1	ＮＨＫ総合・佐賀 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・佐賀 ※3	2
		3	ＳＴＳサガテレビ	3
	長崎	1	ＮＨＫ総合・長崎 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・長崎 ※3	2
		3	ＮＢＣ長崎放送	3
		4	ＮＩＢ長崎国際テレビ	6
		5	ＮＣＣ長崎文化放送	5
		8	ＫＴＮテレビ長崎	4
	熊本	1	ＮＨＫ総合・熊本 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・熊本 ※3	2
		3	ＲＫＫ熊本放送	3
		4	ＫＫＴくまもと県民	5
		5	ＫＡＢ熊本朝日放送	6
		8	ＴＫＵテレビ熊本	4
	大分	1	ＮＨＫ総合・大分 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大分 ※3	2
		3	ＯＢＳ大分放送	3
		4	ＴＯＳテレビ大分	4
		5	ＯＡＢ大分朝日放送	5
	宮崎	1	ＮＨＫ総合・宮崎 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・宮崎 ※3	2
		3	ＵＭＫテレビ宮崎	4
		6	ＭＲＴ宮崎放送	3
	鹿児島	1	ＭＢＣ南日本放送	3
		2	ＮＨＫ教育・鹿児島 ※3	2
		3	ＮＨＫ総合・鹿児島 ※3	1
		4	ＫＹＴ鹿児島読売ＴＶ	6
		5	ＫＫＢ鹿児島放送	5
		8	ＫＴＳ鹿児島テレビ	4
	沖縄	1	ＮＨＫ総合・那覇	1
		2	ＮＨＫ教育・那覇	2
		3	ＲＢＣテレビ	3
		5	ＱＡＢ琉球朝日放送	4
		8	沖縄テレビ（ＯＴＶ）	5

■表中の「リモコンボタン※１」の項目について

● 初期スキャンや再スキャンをしたときに、その放送局がリモコンのどの地上ダイレクト選局ボタンに設定されるかを表します。

■表中の「※2」が記載されている放送局の放送について

● 初期スキャンや再スキャンの際に、入力レベルの高いほうの放送を地上ダイレクト選局ボタンに設定します。
（これは、放送の運用規定によるものです）

■表中の「※3」が記載されている放送局（NHK）の放送について

● 初期スキャンや再スキャンの際に受信できなかった場合は、受信できた域外（お住まいの地域以外）のNHK放送を地上ダイレクト選局ボタンに設定します。（設定される放送は、地域によって決められています）
その後「※3」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。（これは、放送の運用規定によるものです）

用語について

● ☞は該当の用語を使用している代表的なページです。
● 用語によっては、他の分野で別の意味で使用している場合があります。

■ABC順

CA(Certificate Authority)証明書（操作編48☞）
ルート証明書の下の階層にある中間証明書です。第三者機関(認証局)によってデジタル署名入りの状態で発行されます。

CSS（操作編47☞）
スタイルシートの一種で、Webページの視覚効果などをさらに向上させることができます。

DNSサーバー（準備編72☞）
ドメイン名(×××.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します。
(例：111.112.xxx.xxx)
※ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

IPアドレス（準備編71☞）
インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。(例：111.112.xxx.xxx)

JavaScript（ジャバスクリプト）（操作編47☞）
米国Netscape社が開発したHTML文書内に埋め込まれるオブジェクト指向スクリプト言語。ホームページのもととなるHTML文書に記述または関連付けることで、対応しているインターネットブラウザで実行させることができます。

MACアドレス（準備編72☞）
イーサネット回線上につながっている機器の識別のために、各機器ごとに割り当てられる固有の番号です。本機の値を確認する必要がある場合は、表示することができます。

SSL(Secure Socket Layer)（操作編48☞）
米国Netscape社が考案した暗号通信方式。伝送するデータを暗号化することで、第三者によるデータの盗聴を困難にします。

Target(ターゲット)属性（操作編47☞）
リンクしたページを表示する際に、Webサイトが指定したフレームに表示する機能。

URL(Uniform Resource Locator)（操作編45☞）
ホームページのインターネット上の所在場所にアクセスするための文字列。アドレスと呼ばれることもあります。

WindowOpen(ウィンドウオープン)（操作編47☞）
Webサイトが指定した新しいウィンドウを開く機能のことです。

■アイウエオ順

ア行

アイコン（操作編84☞）
各種情報の機能などを、簡単な図・マークなどで表示したものです。

お気に入り（操作編45☞）
見ているWebページを登録することによって、次回はURLを入力することなくリストの中から選択するだけで見られるようにする機能です。

カ行

ご案内チャンネル
放送についての説明や、契約のしかたなどを説明しているチャンネルのことです。未契約の有料放送チャンネルを選局した場合には、このご案内チャンネルを簡単な操作で見ることができます。

サ行

サーバ証明書（操作編47☞）
ご利用のサーバーが信頼できることを確認するために使用されるデジタル証明書(下の「デジタル証明書」を参照)のことです。この証明書自体ができるようにするため、一般的には第三者機関(認証局)が発行したものをさします。

サブネットマスク（準備編71☞）
ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです。
(例：255.255.xxx.xxx)

ジャンル（操作編17☞）
洋画、邦画、音楽などのような、番組の分野のことです。

セキュリティ（操作編48☞）
インターネットなどのネットワーク上で安全を得ること、または安全を得るための方法・システム。例えば、データの暗号化やパスワードによる管理などがあります。

タ行

ダウンロード（操作編67☞）
放送波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末に転送することです。

デジタル証明書
個人や、インターネット上のサーバーなどが信頼できることを証明するためのデータ・ファイル。デジタル証明書は、認証局(CA：Certificate Authority)と呼ばれる、信頼できる第三者機関によって発行されます。

デフォルトゲートウェイ（準備編71☞）
ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。(例：111.112.xxx.xxx)

ナ行

(放送の)ネットワーク（操作編19☞「番組情報の取得」）
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

ハ行

フォルダ
複数のファイルをいれておく入れものです。フォルダの中に別のフォルダを入れることもできます。

プロキシ（準備編72☞）
ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください。
(例：proxy.xxx.xxx.xxx)
この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイヤーウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができます。

ラ行

ルート証明書（操作編48☞）
サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するものです。この証明書をもとにして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

東芝デジタルテレビZ1000で使われるソフトウェアのライセンス情報

東芝デジタルテレビZ1000シリーズ(Z1000と略して記載します)に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

東芝デジタルテレビZ1000は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。ホームページアドレス　http://www.toshiba.co.jp/product/tv/LZ1/eula/　また、**東芝デジタルテレビZ1000**のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。東芝自身のソフトウェアコンポーネンツの取扱いについては、添付の「ソフトウェア使用許諾契約書」を参照ください。なお、「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた**東芝デジタルテレビZ1000**は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理･訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更･再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

東芝デジタルテレビZ1000に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。

東芝デジタルテレビZ1000で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　**原文(英文)**

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel samba udhcp netfiter/iptables mkdosfs busybox pump	Exhibit A
glibc gcc	Exhibit B
malloc	Exhibit C
libupnp	Exhibit D
OpenSSL	Exhibit E
popt	Exhibit F
ppxp	Exhibit G
pMON	その他

E x h i b i t A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program,and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code,which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4.You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6.Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7.If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8.If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10.If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11.BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

ExhibitB

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General PublicLicense. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0.This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4.You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5.A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6.As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7.You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8.You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10.Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library”, the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11.If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12.If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14.If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15.BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon,President of Vice

That's all there is to it!

E x h i b i t C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints,

performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c

Check before installing!

ExhibitD

under an open source software distribution license in 2000.

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ExhibitE

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2002 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

ExhibitF

Copyright (c) 1998 Red Hat Software

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE X CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the X Consortium shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the X Consortium.

ExhibitG

●利用と配布
Copyright (c) 1997, 1998, 1999 The PPxP Development Team. All rights reserved.

以下の条件が満たされる限り、変更の有無に関係なくソースおよびバイナリ形式での再配布と利用を許可します:

ソースコードの再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項がそのまま含まれていなければなりません。
バイナリ形式の再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項が配布に含まれている文章、もしくはその他の資料にそのまま含まれていなければなりません。
このソフトウェアの機能や利用方法について記述されている全ての宣伝資料には以下の文章を記載して下さい:
　この製品にはPPxP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

事前承諾なしにこのソフトウェアから派生した製品の推奨や宣伝のためにこのチームや賛同者達の名前を利用することはできません。

●免責
PPxP開発チームが提供しているのはソフトウェアそのもののみであり、保証や責任などを提供しているわけではありません。
このソフトウェアを導入したり、利用したりすることにより、あるいは何もしないことによりよって生じたいかなる問題についてもこのチーム、そのメンバー、テスター、および本ソフトウェア内に名前が記載されている者が責任を負うことはありません。